



衣川 正一

## 『ステンレス鋼の灯籠』

NHKの大河ドラマ『平清盛』が放映されています。ドラマを見ても、私はいつも金物に目が行ってしまいます。7月8日放映分の『平清盛』一騎打ちの場面でも、清盛が幅広の直刀（ちよくとう）を持ち、源義朝が細身の日本刀で応戦していたのが印象に残りました。この対決により義朝は源氏の本拠地である関東に下向して勢力を築きます。その拠点となったのが鎌倉です。鶴岡八幡宮にはステンレス鋼の灯籠が一對あります

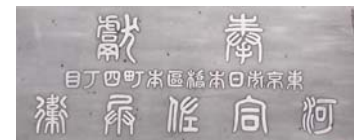
「サビナイ東郷ハガネ」の取り扱いを始めたのは大正11年、現在の刃物用ステンレス鋼13クロームのステンレス鋼です。英国で発見されたステンレス鋼で商標はStainless Steelでした。これを「サビナイ」と一言で言い表した商品として売り出しました。

「サビナイ東郷ハガネ」の販売に続き、昭和4（1929）年わが国で初めて、18-8ステンレスの取り扱いを開始しました。常に輝くと言う意味で「エバーライト スチール」としましたが、先に販売した「サビナイ東郷ハガネ」と同様に、加工技術と、用途の開発には、大変苦労を重ねました。

このステンレス鋼が順調に販売され始めたころでしょうか？昭和15年に建てられたステンレス鋼製の灯籠は今もピカピカに光りサビ一つない灯籠でした。奉納は日本橋河合佐兵衛、製作は新橋の徳増久五郎と銘板がつけられていました。灯ろうの設計は宮内省の技師に依頼しました。灯ろうの材料は、向って右側が英国トーマス、ファース社製にてハンダ付けとなっており、左側は米国ユーエス、スチール社製にてリベットが 9,200本使用されているそうです。



右の灯籠



ステンレス	板厚さ	0.8 mm～1.0 mm
灯ろう	高さ	3.50 m
灯ろう	屋根巾	1.65 m
地上より棟上げ高さ		5.30 m

河合鋼鐵 111年のあゆみ P53より（昭和58年 8月 1日）

### 鶴岡八幡宮（つるがおかはちまんぐう）

康平6年（1063）源頼義が京都の石清水八幡宮を勧請して、由比ガ浜付近に祀ったのを起源とする。治承4年（1180）鎌倉に入った源頼朝が現在の場所に移したが、建久2年（1191）火災により焼失。翌年社殿を建て直し、現在の鶴岡八幡宮となった。三の鳥居、太鼓橋を過ぎると左右に源平池、さらに流鏝馬（やぶさめ）の馬場や舞殿があり、正面石段の上には本宮が控える。年に40以上の祭礼が行われ、多くの観光客で賑わう。



夏休中に「鉄のふしぎ博物館」へ是非遊びにきてください。

ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>  
<http://www.kanamonoya.co.jp/>

e-mail [ryou@memenet.or.jp](mailto:ryou@memenet.or.jp)